

つながり人口クリエイター

朴 南淳 / 地域創造課 / 任期：令和5年4月～（2年目）

ミッション 内容

- ・ふるさとワーキングホリデーの推進及び効果検証
- ・若者と地域との接点づくりによる地域への愛着醸成支援
- ・若者と地元企業をつなぐ機会の創出や魅力発信

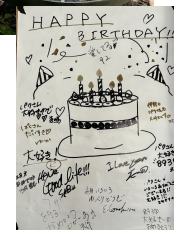
令和6年度 おもな 活動成果

◆ふるさとワーキングホリデー実施

1. 企画・実施・参加者アテンド
2. 受入事業者掘り起こし
3. 移住相談
4. 合同説明会参加・PR告知

◆各種イベント運営

1. ワーホリ・リターンズ企画運営
2. おひとりさま移住Cafe企画運営（銀座NAGANO）
3. 長谷クリスマス実行委員
4. その他、移住やつながりに関連した複数イベント



来年度 ・卒後

- ①伊那市独自のワーキングホリデー企画
- ②卒隊後に向けた準備

つながり人口クリエイター

朴 南淳 / 地域創造課 / 任期：令和5年4月～（2年目）

◆ふるさとワーキングホリデー実績

年 度	実施回数	応募人数	参加人数	移住者	参加者年代					性別	
					20代	30代	40代	50代	60代	男	女
令和3年度	3	20	4	1	0	4	0	0	0	3	1
令和4年度	13	39	14	3	7	2	4	0	1	6	8
令和5年度	10	72	18	2	6	6	1	3	2	9	9
令和6年度 ※1月末現在	13	96	31	1	12	9	4	5	1	10	21

つながり人口クリエイター

朴 南淳 / 地域創造課 / 任期：令和5年4月～（2年目）

◆ふるさとワーキングホリデー参加者限定イベント 「ワーホリ・リターンズ」実施

<目的>

伊那に再訪してもらい伊那を思い出してもらう機会を創出することで、愛着やつながりを再度構築・醸成したい。会ったことがない他のふるさとワーキングホリデー参加者や事業者と交流することによって、これからの暮らしや移住のヒント・刺激を得てもらいたい。

<結果>

1 2名参加（内3名はふるさとワーキングホリデーで伊那滞在中の方）
1 2名中7名がリターンズ後に伊那へ複数回再訪しており、リターンズで知り合った事業者でのアルバイトや、物件探し、地域おこし協力隊への応募など、移住への意欲が高くとつながりを広げている。



つながり人口クリエイター

朴 南淳 / 地域創造課 / 任期：令和5年4月～（2年目）

◆来年度の活動・卒後の展望

①伊那市独自のワーキングホリデー企画

→ワーキングホリデー滞在中に、「滞在期間を延長したい、もっと他の事業者でも働いてみたい」という声が多かったことを受け、総務省の制度では受入対象外となる方を対象とした、伊那市独自のワーキングホリデー実施を試みたい。（人と事業者のマッチング）

②卒隊後に向けた準備

→2年で培った経験やつながりを活かして、卒隊後に伊那で何ができるのか、何がやりたいのかを再度見直し、ビジネスの構築を図っていく。